

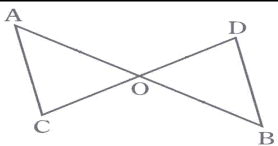
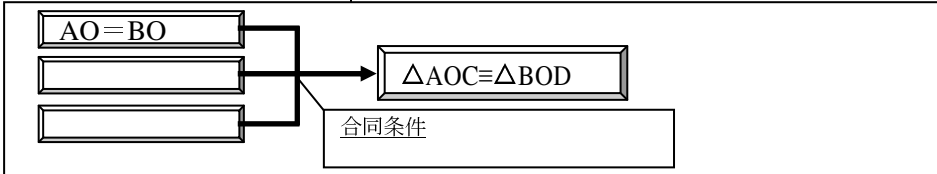
言語活動の充実に関する実践事例（数学科）

【呉市立横路中学校】 林 晃也

設定した言語活動を通して付けたい力

論理的に筋道を立てて数学的に推論を進めていく力（推論の過程を正確に、分かりやすく表現できる力）

- 学年 第2学年
- 単元名（題材名） 図形の合同
- 本時の目標 根拠を明らかにして、証明の構想を立てることができる。
- 本時の展開（3時間目／全6時間）

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 既習事項を確認する。 2 本時の目標を知る。 3 課題を知る。 右の図で $AO=BO$ である。このとき、 $\triangle AOC$ と $\triangle BOD$ を合同にしたい。他に何が分かれば、2つの三角形が合同であるといえますか。	<ul style="list-style-type: none"> ・フローチャート形式の掲示物を使って、結論には根拠が必要になることを意識させる。 	
4 方針を立てる 5 フローチャートをもとに、証明の構想を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・結論 ($\triangle AOC \equiv \triangle BOD$) を示すためには、何を示す必要があるのかを考えさせ、仮定と結論を結ぶ要素として、「三角形の合同条件」を導き出す。 ・オープンに探求可能な問題なので、フローチャートを完成した生徒には、他の合同条件についても探求させる。 	
6 考えを交流する。 ペアトークで、自分の考えを伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・仮定と結論を結ぶ要素をどのように探ったり、どのように検討したりしたかについて、根拠を明らかにして自分の考えを発表させる。 ・間接的には証明できているフローチャート ($AO=BO$, $\angle AOC=\angle BOD$, $\angle C=\angle D$ など) が発表された場合は、7の問題として扱う。 	
7 間接的に証明可能なフローチャートについて考える。 8 まとめをする。		

言語活動の充実

・証明の構想を理解し、根拠を明らかにして自分の考えを表現することができる。〔見方・考え方〕（ワークシート、行動観察）